

参考資料2

(2)令和5年度看護技術演習公開授業の結果

1) 目的

学校評価における授業評価は2003年から学校運営評価の中に位置づけられている。授業は学生と教員双方の相互作用で成り立つものであり、「わかる授業」を実現させるためには教員の授業力が欠かせない。授業する教員が外部者に授業を見て頂くことで、自分では気づかない自身の特性や看護技術に関する最新情報を知ることができ、看護実践力及び教育実践力の向上に繋げることができる。臨地実習指導者が演習に参加することにより基礎教育における授業内容及び学生の学習状況を把握することで臨地での学生指導に活用することが出来る。今年度は、学校関係者評価委員及び中央病院の臨地実習指導者に協力いただいた。

2) 計画・内容： 看護学科3年課程及び2年課程の基礎看護学・母性看護学の授業科目の看護技術演習

回	日時	科目及び単元名	対象学生	教員	参加者
1	7月6日(木)13:00~16:10	日常生活援助技術・状態に応じた体位変換等	2年課程1年生	滑川	県中
2	7月19日(水) 10:20~12:10	ヘルスアセスメントI・バイタルサイン測定	3年課程1年生	大久保	県中
3	7月19日(火)13:00~16:10	臨床看護の実践・複数の対象への看護	3年課程3年生	小林	関係者
4	10月25日(水)13:00~16:10	日常生活援助技術Ⅱ・清拭更衣交換・おむつ交換	2年課程1年生	折笠	県中
5	10月26日(木)13:00~16:10	日常生活援助技術Ⅱ・食事の援助	3年課程1年生	飯田	県中
6	12月21日(木)8:50~12:10	母性看護学方法論Ⅱ・産褥、新生児の看護	2年課程1年生	藤岡	関係者

3) 結果

		体位変換等	バイタルサイン	清拭おむつ交換	食事の援助	
参加者数		3名	2名	3名	2名	
参加 動機	①基礎教育の演習に興味があった	1	1	0	1	
	②今後の学生指導に活かしたい	3	2	3	1	
	③学生のレディネス把握	2	0	1	1	
	④自身の看護師術を振り返りたい	2	0	1	1	
	⑤上司に勧められた	2	1	1	2	平均
演習 進め 方	①時間配分は適切だった	4.0	3.5	3.6	3.5	3.7
	②学生の反応をみて進められていた	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
	③実習にも活用できるものであった	3.6	4.0	3.6	4.0	3.8
	④学生は演習に真剣に参加していた	3.6	4.0	4.0	3.0	3.7
	⑤実習指導に役立つ内容であった	3.6	4.0	3.6	4.0	3.8

※参加動機:複数回答可

※演習の進め方評価基準:4:あてはまる 3:ややあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:あてはまらない

自由記載 (意見・感想)

<体位変換>

- ・ボディメカニクス、改めて勉強になりました。学生さん達が積極的に意見を出し合い、楽しみながら演習している姿がみられてよかったです。
- ・指導する先生も、授業内容の工夫や、指導にあたるための準備、エビデンスの理解を深めるなど、大変なことだと思いました。でもそのおかげで、学生さん達が成長していけるのだと実感することができ、今日見学させてもらいよかったですと思います。ありがとうございました。学校と病院とで良い連携ができ、学生さんの実習が充実したものになるようにしたいと思います。
- ・学生間の意見交換が活発で良かったと思います。患者さんへの声掛けも、もっと意識していただくと、実習でもいかにされると思いました。
- ・丁寧な指導方法であり、腰を痛めないようなボディメカニクスを意識した内容を伝えられており、臨床ですぐに活かせると思った。学生がベッド柵をそっと置く様子が見られとても大切なことと思った。(忘れがちな配慮ですが出来ていた) 実際に行うことで気付く点を学生と共有し指導している場面があった。グループ毎に意見交換を行うことでチームワーク・カンファレンスの訓練にもつながっていると思う。

<バイタルサイン>

- ・実際に演習している様子を見て、勉強になりました。他の指導者とも共有して指導に活かしていきたいと思います。ありがとうございました。
- ・一生懸命に演習に取り組んでいる姿を見て、実習に来た際には私たちもその努力をふまえて、学生指導をしていきたいと思いました。先生方の指導方法も勉強になりました。ありがとうございました。

<清拭・おむつ交換>

- ・学生さんは、学校で習った方法に忠実に実施できていました。そこで臨床での実際の方法をつたえることができたのは、基本と実際のすり合わせになり、実習で役立つと思いました。また、実習先によって物品や方法も異なるため、混乱してしまうこともあるかと思います。習ったことと、実際は違うこともあるということを伝えられる良い機会となりました。いかに羞恥心を少なくするか、保温につとめるか私は基本的なことの大切さを忘れてしまっていたように思います。改めて初心に戻ることができ、良い機会となりました。
- ・学生さんは学校で頑張って技術を磨いていること、先生の皆様のサポートがあること、緊張しながら実習を頑張ってくれていることを忘れず、臨床指導したいなど改めて思いました。この度は貴重なお時間・機会をありがとうございました。
- ・実際に学習している姿を見て、自身の振り返る機会になったので参加してよかったと感じた。
- ・実習に行って困らないような演習が行われていると思いました。参加させて頂きありがとうございました。今後学生さんの指導に活かしていきたいと思います。

<食事>

- ・とても楽しそうに演習している姿が印象的だった。ここからいろいろな気付きがあると良いなと思いました。
- ・とても貴重な体験をさせていただきありがとうございました。実習指導にも生かしたいです。自分が学生時代を思い出してとても楽しく参加させていただきました。今後も、こういった機会があれば良いなと思いました。
- ・新鮮だったけど、なつかしい感じもあった。今の気持ちを忘れないでほしい。

【今年度の公開授業を振り返って】

- ・公開授業として、中央病院看護局に協力いただき実施することができた。参加した指導者は、基礎看護教育内容を確認することや実習指導に生かしたいとの希望で参加されていた。
- ・授業参加をとおして、学生のレディネス把握や指導者自身の技術の振り返りをされており、実際の授業で、指導者と学生および教員との顔が見える関係を築けることにつながる。看護技術に関する課題を共有し、検討する機会に発展したい。
- ・演習担当教員にとって、外部者が見学することは、研究授業の一環となり、演習の組み立て・方法・時間配分・内容など、より質の高い教育を考える機会となる。教育力 up に向けて、今後も継続していきたい。
- ・次年度は、2 年課程・助産学科の実習施設の指導者にも参加していただけるよう周知し、全学科が公開授業を開催できるよう計画したい。